

音楽科学習指導案（本時案） 3 学年
単元名『 曲のやまを感じ取って歌おう～ふじ山～ 』

平成 29 年 8 月 31 日（金） 第 4 校時
授業会場 音楽室
3 年西組 男子 18 名 女子 17 名 計 35 名
指導教員
授業者

1 本時の位置（全 2 時間扱い中の第 2 時）

前時…曲の雰囲気を考え、歌詞をイメージしてうたおう
次時…なし

2 本時の主眼

ふじ山を初めて聴いて、曲の雰囲気を歌詞から捉えようとしている子どもたちが、ふじ山におけるフレーズのやまを感じ取って歌う場面で、強弱に合わせて色つけしたり、強弱を数値化して表現して、強いところと弱いところの変化を見て分かるようにする活動を通して、曲の山場を根拠を持って考えることができる。

3 指導上の留意点

・フレーズのやまを日本一の山のところだと決めつけず、色んな意見を柔軟に受け入れる

4 本時の展開

段階	学習活動	予想される児童の反応	時間	指導・援助と評価
導 入	1 ふじ山の写真を見ながら歌詞の想像を膨らませて歌う	・すごい高いなあ ・宙に浮いてるみたい ・雲の海みたいだな ・頂上の岩がごつごつだね	5 分	○富士山からの景色で、「かすみのすそ」をイメージできる写真、富士山の頂上からの雄大な写真などを使い、視覚的な想像で捉える。 ○録音して最後の演奏と比べる材料にする
	2 録音を聴いて、感じたことを挙げる	・ふじは日本一の山ってところが大きく歌っていた ・最後に向かって強くなってる感じがした	7 分	○前回の授業で「かみなりさま」の部分や「日本一の山」ってところが大事だと思うって言ってたけど、そこを大事に歌うにはどうすればいいかな？
展 開	学習問題 強いところと弱いところを感じ取って歌おう			
	3 強いところと弱いところを楽譜に表す手立てを考える	・色を付ける→どんな色づけすれば良いかな ・線を書く→どんな線をかけばいいかな ・f や m p などの音楽記号を使う ・何%とかを使ったらいいかも	8 分	○あいまいな言葉でも問い返しでなるべく具体的な言葉にしていく ○相談しながらいろいろな方法で強弱が表せそうなことに気づかせる。 ○強いところと弱いところのイメージを考えて、「やま」という言葉を発見させる
	色つけしたり、何%くらいで歌うか考えたりして、強いところと弱いところの変化を見て分かるようにして歌えばよさそう			
終 末	4 それぞれのフレーズを何%くらいで歌えば良いか考える	・最後のドの音を 100%にしたら良いと思う ・最初は 30%くらいかなあ ・かみなりさまを下に聴くはもっと盛り上がった方がいいんじゃないかな ・四方の山を見下ろしては高いドが出てくるけどもっと抑えた方がよいよ	20 分	○どこのフレーズ、どの音を 100%で歌えばいいかな？ ○100%で歌いたいフレーズを目立たせるために他のフレーズを抑えるということを伝える 評価：曲の山場を根拠を持って考えている 評価方法：学習カード、楽譜、授業内の発言から
	5（最初の演奏と）最後の演奏を聴いて、本時の追究を振り返る	・日本一の山というところの音程が高くて歌詞も一番大事だなと思ったので、そこを 100%にして歌った	5 分	○展開の最後に録音したものを使用する

準備すること：スクリーン、富士登山の写真、オーディオレコーダー、AppleTV の LAN